

長中だより

平成27年11月19日
第45号
伊豆の国市立長岡中学校

文責 松下八十二

子ども作品展

11月7日(土)・8日(日)の2日間、あやめ会館において、長岡地区の子ども作品展が行われました。一人1作品を原則とし、全生徒の作品を展示しました。一人1作品の展示となってから来場者も増え、2日間でのべ1380人の方に、子どもたちの力作を見ていただくことができました。来場者の中には3世代で見に来てくれた家庭もあり、大変嬉しそうに孫の作品を見ているおじいさんやおばあさんの姿が見られたり、作品に子どもの成長を感じとったお父さんやお母さんがいたり、充実した作品展となりました。

<作品を見学する 来場者の方々>



<6・7組作品>



<2年生の作品>



<1年生作品>



<3年生作品>

地域での活躍

今年度、頑張っている中学生の姿を見てもらうため、中学生も地域の一員であることを自覚してもらうために、積極的に地域の行事へと中学生が参加しています。

15日(日)には、伊豆の国時代まつりのパレードに10名の生徒が参加しました。パレードに参加した生徒は、来年1月に行われる鶴払い祭に参加する生徒で、当日は鶴払い祭で着る衣装を身につけパレードに参加しました。鶴払い祭には、19名の1・2年生が参加することになっており、12月より本番に向けて練習が始まる予定です。

11月28日(土)に行われる、伊豆の国市子ども・若者育成支援大会[会場は葦山時代劇場]では、私の主張の長岡中代表として3年生の杉山芽衣さんが発表をします。また、アトラクションとして、長中ソーランを1・2年生の代表40名が披露します。杉山芽衣さんの主張発表は午後2時、長中ソーランの披露は午後2時30分の予定です。

また、翌日の29日(日)には、葦山のグリーンプラザで行われる農業祭に吹奏楽部が出演します。演奏開始時間は午前9時です。

今月は、地域へ出て活躍する場がたくさんあります。ぜひ、時間があれば、長中生の活躍を見てください、たくさんの声援が、出演する中学生に力を与えてくれます。

薬学講座

13日(金)に、学年ごとに薬学講座を実施しました。薬物というと中学生には無縁のもと感じがしますが、つい最近、京都で右の記事のように小学校6年生が、兄が持っていた大麻を吸うという事件がありました。低年齢の子どもにも広がりつつあるというのが現実です。そこで、薬物がいかに危険であるか、人生をだめにしてしまうという話を、1年生はスクールサポーターの長峰さんと学校薬剤師の佐藤さん、2年生はライオンズクラブ、3年生は保護司さんがそれぞれ話をしてくれました。合い言葉は『ダメ ゼツタイ』です。これから先、もしかすると甘い誘惑があるかもしれませんが、そのときは、今回聞いた話を思い出し、はっきりと断れるような人になってもらいたいです。

<小6 大麻>

京都市立小6年の男児(12)が学校の教師に「大麻を吸った」と話した問題で、京都府警は11日、男児の自宅を大麻取締法違反容疑で家宅搜索した。通信制高校1年の兄(17)の部屋から微量の大麻草と吸引器具が発見され、府警は兄を同法違反(所持)容疑で現行犯逮捕した。

府警の調べに兄は、「自分が使用するために持っていた」と容疑を認めているという。男児は「今年9月、兄の机の上で大麻を見つけて4回吸った」と話しており、府警は男児を児童相談所に通告することも検討している。

市内では10月初旬にも高校生ら4人が同法違反(所持など)容疑で逮捕されており、府警は少年の間で大麻がまん延している疑いがあるとみている。



今年も保護司さんは、3年生全員に花(ゼラニウム)のプレゼントを用意してくれました。きれいな花をぜひ咲かせて

<保護司さんのお話>



<1年生>

〔長峰さん
佐藤さん〕

<2年生>

〔ライオンズ
ズクラブ〕

